

2024 年 10 月入学

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府

共同先進健康科学専攻 博士課程

学 生 募 集 要 項

国立大学法人 東京農工大学

# 重 要

本要項に記載した情報は 2024 年 4 月時点の内容です。

本要項の公開後であっても、選抜方法や日程等に変更が生じる可能性があります。

変更のお知らせは本学ホームページの「入試情報 > 大学院：入試情報 >

重要なお知らせ」に掲載しますので、随時ご確認いただくようお願いします。

**【本学ホームページ「重要なお知らせ」URL 及び QR コード】**

[https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi\\_daigakuin/info/](https://www.tuat.ac.jp/admission/nyushi_daigakuin/info/)



## 生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

## 共同先進健康科学専攻のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

共同先進健康科学専攻は、生命科学・食料学・環境科学に関わる先端研究を推進する能力を有する人材の育成を基盤とする。加えて、国際基準の機器・新薬・分析法等の開発とリスク管理や審査プロセスを統括する能力を具備する研究者や産業界で新製品開発や新技術開発を牽引する最高度開発者・技術者の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

1. 生命科学・食料学・環境科学に関わる先端研究の知識や技術に関心があり、これらの習得を通して、先端医療技術、疾病予防、食の安全・安心、食品の機能・管理、環境リスク制御、環境改善など、先進的な健康科学に貢献する意欲のある者。
2. 特定の分野の知識・技能への関心だけでなく、関連する分野や複合領域における多様な課題の発見、解決に関心を持つとともに、新たな技術開発や研究開発へ探求心を持って果敢に挑戦し、産業界や研究開発機関、官公庁等において、国内外のリーダーとして活躍する意欲のある者。

◎共同先進健康科学専攻は“早稲田大学との共同大学院”であり、後期 3 年のみの博士課程です。

## 1. 共同大学院とは

高等教育機関間の連携協力による教育・研究・社会貢献機能の充実・強化を一層促進すること等を目的に、国公立大学を通じ、複数の大学が相互に教育研究資源を有効に活用しつつ、共同で教育課程を編成する仕組みを利用した大学院です。

## 2. 共同大学院の主な特徴

- (1) 東京農工大学と早稲田大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 東京農工大学と早稲田大学の両大学に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員（主指導教員）が在籍する大学に本籍を置くこととなります。（詳細は、2頁3. (2)を参照）
- (3) 両大学に在籍することになりますので、両大学の施設等を利用することが可能です。（一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。）
- (4) 東京農工大学に本籍を置いた場合、早稲田大学教員（副指導教員）からも研究指導が受けられる体制となります。
- (5) 東京農工大学と早稲田大学の両大学で開講する、共同大学院の講義を受講することができます。

共同大学院としての分野融合性を重視し、これまでに在籍した学部・分野や履歴にとらわれず意欲を持った学生を幅広く国内外から受け入れます。

～共同先進健康科学専攻では次のような学生を積極的に受け入れます～

- ・博士前期課程または修士課程を修了した者ならびに6年制大学を卒業した者でより高度な教育研究を希望する者
- ・既に外国の大学で修士の学位を取得した者で、日本の大学院へ進学し、博士の学位取得を目指す者
- ・理学・工学・農学の融合教育により、先進的な健康科学の探求を志す者
- ・医薬・食・環境などの分野でリーダーとして活躍することを目指す者
- ・国民の健康保持増進に寄与する使命を有する企業、公的研究所、官公庁、教育機関等において研究・開発・企画等に従事することを目指す者

### 3. 重要なお知らせ

(1) 主指導予定教員との連絡について（必須）

出願（出願資格の認定申請を含む）にあたっては、志望する主指導予定教員へ事前に連絡し、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。

また、合格した場合は、主指導予定教員へ連絡し、研究計画等の打合せを必ず行ってください。

(2) 出願大学、受験大学、本籍を置く大学について

東京農工大学に所属する専任教員を主指導教員とする場合は、東京農工大学へ出願し、東京農工大学において入学者選抜試験を受験することとなります。

この場合、入学後に本籍を置く大学は「東京農工大学」となり、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、東京農工大学の学生として取り扱います。

※本共同先進健康科学専攻において、東京農工大学と早稲田大学を併願することはできません。

# 2024 年 10 月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程） 学生募集要項

東京農工大学では、平成 22 年 4 月に早稲田大学との共同大学院として「共同先進健康科学専攻（博士課程）」を、大学院生物システム応用科学府に設置しました。共同先進健康科学専攻に関する概要、専任教員等の詳細については、「パンフレット（東京農工大学・早稲田大学大学院共同教育課程“共同先進健康科学専攻”）」または「共同先進健康科学専攻ホームページ（URL：<http://www.tuat.ac.jp/~tw-kyodo/index.html>）」を参照してください。

## 1. 募集専攻・募集人員等

専攻名	募集人員
共同先進健康科学専攻	若干名

## 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当するものとします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2024 年 9 月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2024 年 9 月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2024 年 9 月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下、「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2024 年 9 月末日までに当該学位を取得見込みの者
- (6) 外国の学校、上記（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
  - ① 大学を卒業し、大学・研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学・研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2024 年 10 月 1 日現在 24 歳に達する者

注)「出願資格 (7)・(8)」により出願する者は、出願資格認定審査(事前審査)を行います。(9頁「出願資格(7)・(8)の認定について」を参照)

なお、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部等を卒業したこと(又は卒業見込み)のみをもって、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めることはできません。従って、当該学部等を卒業したこと(又は卒業見込み)のみをもって出願する場合は、出願資格認定審査(事前審査)の対象となりますので、留意してください。

### 3. 出願期間

2024年7月3日(水)～7月5日(金)まで

窓口受付時間:9時30分～11時30分、13時30分～16時

### 4. 出願手続

- (1) 一般入試により出願する者は、5頁の「5一般入試(1)出願書類等」を参照し、所定の出願書類等を揃えてください。
- (2) 持参する場合は、小金井地区学生支援室入学試験係へ提出してください。  
郵送する場合は、封筒の表に「共同大学院出願書類在中」と朱書きし、書留速達で小金井地区学生支援室入学試験係へ郵送してください。2024年7月5日(金)までに到着したものを受理します。

#### 【出願書類提出先及び問い合わせ先】

東京農工大学小金井地区学生支援室入学試験係  
〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16  
東京農工大学小金井キャンパス内管理棟(1階)  
TEL 042(388)7014(直通)

## 5. 一般入試

一般入試は、学力検査と書類選考を総合して行います。

身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入学試験係へ事前に申し出てください。

### (1) 出願書類等

出 願 書 類		注 意
A	入 学 志 願 票 ( 所 定 用 紙 )	「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入すること。
B	写 真 票 ・ 受 験 票 ( 所 定 用 紙 )	写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼付すること。
C	修了(見込)証明書	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了(見込)証明書を提出すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要。
D	成 績 証 明 書	出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要。
E	研 究 業 績 一 覧 ( 所 定 用 紙 ) 及 び 研 究 業 績 等 の 別 刷	研究業績等(学術論文、研究発表・報告、特許等)について記入し、提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合には、それらも併せて提出すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要。
F	修 士 論 文 の 概 要 ( 所 定 用 紙 )	博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院に在学中の者は、修士論文の内容を日本語で2,000字(英語の場合は500words)以内に要約した概要を提出すること。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要。
G	研 究 計 画 書 ( 所 定 用 紙 )	(後期3年のみの)博士後期課程における研究計画を2,000字以内にまとめること。なお、作成に当たっては、必ず志望する主指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
H	志 望 理 由 書 ( 所 定 用 紙 )	志望理由を横書きで2000字以内にまとめること。ただし、出願資格(7)・(8)に該当する者は提出不要。
I	住 民 票 の 写 し 等	1) 外国人は、住民票の写し(国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限る。)又はパスポートの写しを提出すること。 2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。
J	入 学 検 定 料	30,000円を以下の指定口座へ振り込み、支払証明書またはレシートを「入学検定料納付確認票」に貼りつけて提出すること。 <b>【振込先】</b> 三菱UFJ銀行 本店 普通 7851722 口座名義 トウキョウノウコウダイガク ※振り込みの際には、必ず振込人名義を「BASEC(自分の名前)」とすること。 例: BASEC ノウコウタロウ ※海外からの送金は、事前に入学試験係に相談すること。 ※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は納入不要。
K	宛 名 票 ( 所 定 用 紙 )	必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。

### (2) 学力検査

提出された修士論文の概要と研究計画などを参考にして、関連する専門分野及び語学の試験を行います。

なお、論文等を外国語で発表している場合には、書類審査の上、語学の試験を行わないことがあります。



(3) 学力検査日及び場所：

検査日：2024年8月20日（火）

場 所：東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場などの詳細については、別途出願者に通知します。

## 6. 合格者発表

合格者は、2024年9月2日（月）午前10時、本学ホームページ（<https://www.tuat.ac.jp/>）に掲載します。

合格者には合格通知書等を郵送します。

## 7. 入学手続

(1) 入学手続期日

2024年9月13日（金）

入学手続の詳細は別途通知します。

(2) 入学に要する費用等

① 入学金……282,000円

進学志願者（本学大学院博士前期課程又は修士課程から引き続き進学しようとする者）及び国費外国人留学生は不要です。

② 授業料……年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）

ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学時には、本学指定の学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要となります。

(3) 必要書類等

在職のまま入学を希望する者は、所属長等の「入学承諾書（所定用紙）」を提出してください。

また、他大学院に在学中の者は「退学証明書」を提出してください。提出できない場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(4) その他

身体に障害がある者で、修学上特別な措置を希望する者は、事前に小金井地区学生支援室入学試験係へ申し出てください。

## 8. 注意事項

(1) 出願に当たっては、志望する主指導予定教員に必ず事前に連絡し、確認を得てください。

(2) 学力検査には必ず、受験票を携帯してください。

(3) 出願手続後における提出書類の内容変更は認めません。

(4) 本要項及び大学から指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合があります。

(5) 入学試験に関する照会は、4頁に記載の「出願書類提出先及び問い合わせ先」とします。

(6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布します。

(7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻ししません。

(8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者へ通知します。

(9) 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京農工大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し厳格な審査を行っています。規制事項に該当する場合は、本学から経済産業省（経産省）への許可申請が必要となり、すぐに教育が受けられない場合や研究ができない場合があります。また、経産省が国際平和・安全の維持の観点から申請を不許可とした場合、結果的に本学での教育が受けられない場合や研究ができない場合があるので、注意してください。

(10) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。
2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
4. 上記1.～3.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供する。

## 9. 教育研究分野等一覧

教 員 氏 名	教 育 研 究 分 野	
	専 門 分 野	内 容
教授 田中 あかね *2026.3 退職予定	獣医学、基礎医学、免疫学	マスト細胞の腫瘍性増殖における細胞周期調節タンパクの発現動態の解析。マスト細胞の腫瘍性増殖や免疫学的活性化における転写因子NF- $\kappa$ Bの役割の解明。マスト細胞、また広く免疫系細胞の増殖や活性化を制御する分子標的治療法の確立を目指す研究を行う。
教授 田中 剛	生物工学、分析化学	バイオマテリアルを利用した新規バイオセンシング技術、医療診断技術、バイオ燃料創生技術の開発について研究を行う。
教授 田中 秀幸	身体運動科学、体力科学	ヒトの個体レベルを対象として、知覚-運動制御の脳内メカニズムを運動行動学的に研究する。またその応用として、衝突や転倒事故防止を目指した知覚運動機能の向上法について研究を行う。
教授 天竺桂 弘子	生化学、分子生物学、昆虫学	昆虫とヒトの相互補完的な研究。昆虫だけにあるユニークな特徴を利用し、哺乳類モデル動物では解析が困難なヒト疾患の分子メカニズムの解析や、昆虫特有の代謝を経て生物活性が変化した植物由来成分から、医薬品候補化合物を探索する研究。
教授 好田 正	食品化学、食品免疫学、 食品機能学	食品の機能性、特に免疫調節機能を解明することにより様々な疾病の予防や症状の緩和に利用することを目的としている。具体的には、アレルギーや生活習慣病などを研究対象としている。さらに、食品由来因子の化学修飾を介して機能性を向上させる取り組みも実施している。
准教授 稲田 全規	生命工学、病態生理学、歯学	疾患モデル動物や遺伝子改変動物を用いた生活習慣病や慢性疾患の病態を解析し、その発症に関わる標的分子・細胞・臓器などのメカニズム解析を行う。創薬への評価精度向上について、病態生理学的な手法を主とした導入研究を行う。

※指導教員が退職後も教員を変更の上、学修を継続することが可能です。

## 出願資格（7）・（8）の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施します。  
なお、申請にあたっては、志望する主指導予定教員へ事前に連絡し承諾を得てください。

### 1. 申請書類受付日時

受付日……2024年6月3日（月）～6月4日（火）

受付時間……9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

受付場所……小金井キャンパス管理棟（1階）小金井地区学生支援室入学試験係

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「共同大学院出願資格認定書類在中」と朱書き、書留速達で送付してください。2024年6月4日（火）までに到着したものを受理します。

### 2. 提出書類等

ア) 出願資格認定申請書（所定用紙）

イ) 卒業証明書（出身大学等最終学校長が作成したもの）

ウ) 成績証明書（出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの）

ただし、卒業後10年以上を経過した者については、提出不要です。

エ) 志望理由書（所定用紙）

志望理由を横書きで2000字以内にまとめてください。

オ) 研究業績一覧（所定用紙）及び研究業績等の別刷

研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し、提出してください。

なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合には、それらも併せて提出してください。

カ) 在職（在籍）証明書（様式随意）

主な職歴について、所属長等が作成し、職務内容及び在職期間が明記された在職（在籍）証明書を提出してください。 ※勤務経歴がない場合は提出不要です。

キ) 医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部等を卒業したこと（又は卒業見込み）のみをもって出願する者については、卒業論文の概要（所定様式「修士論文の概要」を参照に、A4版の用紙を使用して日本語で2000字（英語の場合は500words）以内に要約し作成したもの）を提出してください。また、卒業論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付してください。

注）卒業論文が課されていない場合は、別途、提出書類を指示する場合があります。必ず事前に主指導予定教員へ申し出て指示に従ってください。

### 3. 認定審査

本学府において、提出書類等により認定審査を行います。

### 4. 認定結果

2024年6月28日（金）に郵送します。

### 5. 出願手続

出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に出願手続を行ってください。

# 10. 所在地

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

☎ 042-388-7014

## 東京農工大学案内図

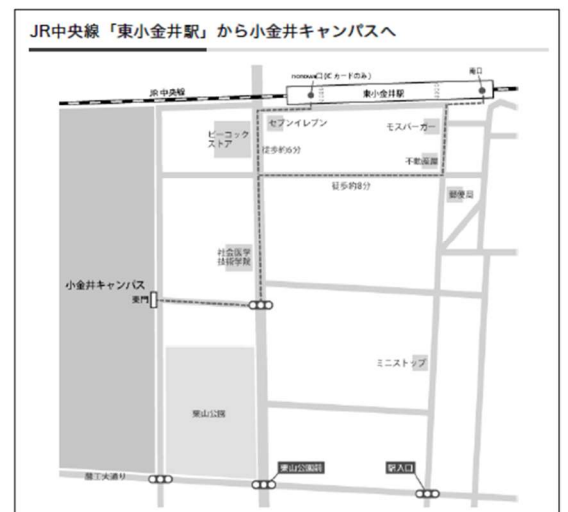


### ◎交通機関

小金井キャンパス

JR 中央線 東小金井駅 (新宿から約 22 分、立川から約 12 分)

nonowa 口から徒歩約 6 分、南口から徒歩約 8 分



受験志願者 各位

東京農工大学大学院

生物システム応用科学府

### 提供いただいた情報の利用について

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人東京農工大学個人情報の保護に関する規程」に基づいて、次のとおり取り扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。
2. 入学者選抜に用いた試験成績等は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。
3. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
4. 上記1～3の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがある。受託業者には委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供する。

2024年10月入学 東京農工大学大学院  
生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）

## 入 学 志 願 票

選抜区分	一 般 選 抜		受 験 番 号
			※
ふりがな氏名			性別 男・女
生年月日	年 月 日 生（ 歳）		
志望する 主指導予定教員		本籍 （又は国籍）	都・道・府・県 （外国人は国籍）
出身大学	大学	学部	学科
			年 月 卒業
	大学大学院	研究科 教育部 学 府	（修士・博士前期） 年 月 修了・修了見込
勤務先 及 職 業	会社名 〒 TEL	役職名	
現住所	〒 TEL	E-mail	
合格通知等 受取場所	〒 TEL		
履 歴 書			
学 歴	年 月	事 項	
職 歴			
備 考			

2024年10月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府共同先進健康科学専攻 (博士課程)		2024年10月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府共同先進健康科学専攻 (博士課程)	
写 真 票		受 験 票	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写 真 欄</p> <p>写真は脱帽上半身 4cm × 3cm</p> </div>		受験番号	※
		教指導 員 予定	
受験番号		ふりがな	
教指導 員 予定		氏 名	
		生年月日	年 月 日生
ふりがな		(注 意) 1. 本票は、学力試験の際に机の上に置いて監督者に見えるようにすること。 2. 本票は、入学手続まで大切に保管しておくこと。 3. ※印欄は記入しないこと。	
氏 名			
生年月日	年 月 日生		
注) 1 ※印欄は記入しないこと。			



# 修士論文の概要

受験 番号	※	志望 専攻	共同先進健康科学専攻	氏名	
修士論文題目					
修士論文の概要					

注) 修士論文の内容を具体的かつ簡明に記入すること。なお、必要に応じては図、表、式を用いても良い。また、パソコン等による原稿をのり付けしても良い。  
※印は、記入しないこと。

# 研 究 業 績 一 覧

受験番号	※	志望専攻	共同先進健康科学専攻	氏名	
学術論文、研究発表・報告、特許等の名称			発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	備考（共著者名又は共同発表者名）

注) 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。また、パソコン等による原稿をのり付けしても良い。  
 ※印は、記入しないこと。

# 研 究 計 画 書

受験 番号	※	志 望 専 攻	共同先進健康科学専攻	氏 名	
研 究 ( 希 望 ) 題 目					
研 究 ( 希 望 ) 計 画 の 概 要					

注) パソコン等による原稿をのり付けしても良い。

※印は、記入しないこと。

受験番号

※

# 志 望 理 由 書

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻（博士課程）の入学志望者、私 \_\_\_\_\_  
は下記により志望します。

年 月 日

所属・職名等 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊞

◎志望理由、過去の研究歴や職務内容と博士課程において希望する研究内容との関係等について2,000字以内で記入してください。

注) パソコン等による原稿をのり付けしても良い。  
※印は、記入しないこと。

2024年10月入学 東京農工大学大学院  
生物システム応用科学府 共同先進健康科学専攻 (博士課程)

## 入学試験出願資格認定申請書

ふりがな 氏名	〒	現職	
生年月日 (年齢)	年 月 日 ( 歳)	現住所	〒 TEL - -
志望する 主指導予定教員			
学 歴			
年 月 日	事 項		
職 歴 (研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。)			
年 月 日	事 項		
学会及び社会における活動状況			
年 月 日	事 項		

# 入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府  
共同先進健康科学専攻（博士課程）に入学することを承諾します。

年 月 日

東京農工大学大学院  
生物システム応用科学府長 殿

住 所

所属機関

所 属 長

⑩

## 入学検定料納付確認票

受験番号	※
------	---

支払証明書またはレシートを貼りつけてください。

(注意)

納入された入学検定料は原則返還いたしません。

※欄は記入しないでください。

